

事例番号:370255

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会第七部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 38 週 5 日

8:50 破水のため入院

4) 分娩経過

妊娠 38 週 5 日

9:00 陣痛開始

11:11 頃- 胎児心拍数陣痛図で胎児心拍数基線 60-70 拍/分の高度徐脈
あり

11:25 胎児機能不全のため子宮底圧迫法併用の吸引分娩 2 回実施し児
娩出

5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:38 週 5 日

(2) 出生時体重:3100g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 7.55、BE -5.8mmol/L

(4) アプガースコア:生後 1 分 2 点、生後 5 分 4 点

(5) 新生児蘇生:人工呼吸(バック・マスク)

(6) 診断等:

出生当日 新生児仮死

生後 5 ヶ月 頸定未、不随意運動が目立つ

1 歳 0 ヶ月 運動発達遅滞

(7) 頭部画像所見:

生後 7 日 頭部 MRI で視床に信号異常が疑われるが脳室拡大や破壊性病変なし

生後 7 ヶ月 頭部 MRI では大脳基底核・視床に明らかな信号異常や脳室拡大・破壊性病変を認めない。

6) 診療体制等に関する情報

(1) 施設区分:診療所

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 1 名

看護スタッフ:助産師 2 名、看護師 2 名

2. 脳性麻痺発症の原因

分娩経過中に低酸素・酸血症が認められた可能性はあるが、頭部画像所見で低酸素・虚血を示唆する所見は認めず、脳性麻痺発症の原因は不明である。

3. 臨床経過に関する医学的評価 (2020 年 4 月改定の表現を使用)

1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

2) 分娩経過

(1) 妊娠 38 週 5 日、破水来院時の対応(内診、破水の診断、分娩監視装置装着)は一般的である。

(2) 分娩経過中の管理(分娩監視装置装着、変動一過性徐脈に対して酸素投与)は一般的である。

(3) 胎児機能不全に対して子宮底圧迫法併用の吸引分娩としたこと、吸引分娩の要約を満たしていること、および実施方法(実施回数・総牽引時間)は、いずれも一般的である。

(4) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。

(5) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。

3) 新生児経過

(1) 新生児蘇生(バッグ・マスクによる人工呼吸)は一般的である。

(2) 新生児仮死、呼吸障害のため A 医療機関 NICU への搬送したことは一般的である。

4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

なし。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

脳性麻痺発症に関与すると考えられる異常所見を見出すことができない事例を集積し、疫学調査や病態研究等、原因解明につながる研究を推進することが望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

なし。